



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名 富士重工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7270 URL <http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉永 泰之

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 山藤 和典

TEL 03-3347-2005

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,029,407	△12.4	27,854	△62.1	28,713	△61.6	36,756	△37.1
23年3月期第3四半期	1,174,628	16.1	73,482	—	74,777	—	58,407	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 28,071百万円 (△30.8%) 23年3月期第3四半期 40,566百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	47.10	—
23年3月期第3四半期	74.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,286,513	435,165	33.7
23年3月期	1,188,324	413,963	34.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 433,826百万円 23年3月期 412,661百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.50	—	4.50	9.00
24年3月期	—	4.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,500,000	△5.1	38,000	△54.8	37,000	△55.0	41,000	△18.5	52.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	782,865,873 株	23年3月期	782,865,873 株
24年3月期3Q	2,404,054 株	23年3月期	2,605,141 株
24年3月期3Q	780,381,306 株	23年3月期3Q	779,322,263 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」を参照してください。

< 添付資料 目次 >

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	4
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書.....	7
四半期連結包括利益計算書.....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	11
(5) 連結の範囲及び持分法適用の範囲の変更.....	11
(6) 追加情報.....	11
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	11
(8) その他注記情報.....	12
(9) セグメント情報等.....	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、東日本大震災の影響に加え、円高による為替レート差の影響を受けたことなどにより、1兆294億円と前年同期比1,452億円(12.4%)の減収となりました。

利益面につきましては、売上高の減少に伴い、営業利益が279億円と前年同期比456億円(62.1%)の減益となり、経常利益につきましても、287億円と前年同期比461億円(61.6%)の減益となりました。また、四半期純利益につきましても、4月に新宿スバルビルを売却したことに伴う特別利益261億円を計上しましたが、368億円と前年同期比217億円(37.1%)の減益となりました。

[セグメントの状況]

第3四半期連結累計期間のセグメントの状況は以下のとおりです。

①自動車事業部門

生産が正常化した10月以降、東日本大震災による在庫不足解消に向けた増産などにより、挽回に努めたものの、第2四半期連結累計期間までの震災による生産、販売への影響が大きかったことなどにより、スバルの販売状況等は、以下のとおりとなりました。

国内におけるスバルの登録車販売は、「インプレッサ」、「フォレスター」が前年同期を上回る推移となり、「トレジア」も台数の上積みで寄与したことから、売上台数は52千台と前年同期比2千台(4.3%)の増加となりました。

一方、軽自動車につきましては、「サンバー」が前年同期を上回る推移となるなど堅調でしたが、主力車種である「ステラ」の台数が減少したことなどにより、売上台数は62千台と前年同期比7千台(9.5%)の減少となりました。

これらの結果、国内における売上台数の合計は、114千台と前年同期比4千台(3.7%)の減少となりました。

海外につきましては、地域別の売上台数が、北米で207千台と前年同期比19千台(8.6%)の減少、ロシアを含む欧州で35千台と前年同期比8千台(18.3%)の減少、豪州で24千台と前年同期比9千台(26.3%)の減少、中国で38千台と前年同期比8千台(16.8%)の減少、その他地域で14千台と前年同期比8千台(37.3%)の減少となりました。

これらの結果、海外における売上台数の合計は318千台と前年同期比52千台(14.0%)の減少となりました。

以上の結果、国内と海外の売上台数の合計は432千台と前年同期比56千台(11.5%)の減少となり、全体の売上高は、為替の円高による影響もあり、9,404億円と前年同期比1,460億円(13.4%)の減収となりました。また、セグメント利益につきましても、252億円と前年同期比467億円(64.9%)の減益となりました。

②航空宇宙事業部門

防衛省向け製品では無人偵察機システムや部品等の売上が増加したものの、多用途ヘリコプター「UH-1J」の売上減少などがあり、売上高は前年同期を下回りました。

一方、民間向け製品では為替の円高による影響があったものの、「ボーイング777」の売上増加やビジネスジェット「H4000」の売上増加などにより、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、全体の売上高は551億円と前年同期比9億円(1.6%)の増収となりました。セグメント利益につきましても、15億円と前年同期比19億円の増益となりました。

③産業機器事業部門

北米向けエンジン販売の低迷や為替の円高による影響があったものの、東日本大震災の復興向け発電機を中心として国内向け販売が大幅に伸長し、東南アジア向けエンジンの販売も好調に推移したことなどから、売上高は251億円と前年同期比22億円(9.7%)の増収となりました。セグメント利益につきましても、5億円と前年同期比3億円(310.8%)の増益となりました。

④その他事業部門

風力発電システム関連の売上が減少したことなどにより、売上高は88億円と前年同期比24億円(21.2%)の減収となりました。セグメント利益につきましても、7億円と前年同期比11億円(60.3%)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、1兆2,865億円と前期末に比べ982億円の増加となりました。主な要因は、有価証券が616億円増加したことに加え、生産台数の増加により、たな卸資産が537億円増加したことなどです。

負債につきましては、8,513億円と前期末に比べ770億円の増加となりました。主な要因は、社債を200億円償還したものの、長期借入金が増加したことに加え、生産台数の増加により支払手形及び買掛金が増加したことなどです。

純資産につきましては、4,352億円と前期末に比べ212億円の増加となりました。主な要因は、四半期純利益を計上したことなどにより、利益剰余金が増加したことなどです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、2,480億円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は5億円(前年同四半期は779億円の増加)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益を470億円計上したものの、たな卸資産の増加609億円があったことなどです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は37億円(前年同四半期は383億円の減少)となりました。主な要因は、有価証券の取得による支出(売却による収入との純額)20億円などです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は307億円(前年同四半期は524億円の減少)となりました。主な要因は、社債の償還による支出200億円があったものの、長期借入れによる収入(返済による支出との純額)699億円があったことなどです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の連結業績予想につきましては、前回予想値に対し更に諸経費の削減や原価低減などが見込まれることから、以下のとおりとさせていただきます。

なお、通期の連結業績予想数値の前提となる為替レートは1米ドル78円（前回公表78円）、1ユーロ107円（前回公表108円）となっております。また、第4四半期連結会計期間の為替レートは1米ドル77円、1ユーロ100円としております。

平成24年3月期通期連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,480,000	百万円 30,000	百万円 29,000	百万円 36,000	円 銭 46.13
今回発表予想(B)	1,500,000	38,000	37,000	41,000	52.54
増減額(B-A)	20,000	8,000	8,000	5,000	
増減率(%)	1.4	26.7	27.6	13.9	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	1,580,563	84,135	82,225	50,326	64.56

2. サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等合計に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	211,700	172,409
受取手形及び売掛金	76,810	101,550
リース投資資産	23,050	21,579
有価証券	21,063	82,623
商品及び製品	72,871	123,087
仕掛品	56,567	58,974
原材料及び貯蔵品	36,974	38,020
繰延税金資産	13,754	11,965
短期貸付金	59,986	70,505
その他	39,396	49,302
貸倒引当金	△1,851	△1,851
流動資産合計	610,320	728,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	118,267	113,566
機械装置及び運搬具（純額）	81,261	95,321
土地	177,697	171,202
賃貸用車両及び器具（純額）	11,751	7,676
建設仮勘定	21,391	12,270
その他（純額）	20,475	18,088
有形固定資産合計	430,842	418,123
無形固定資産		
その他	12,040	11,294
無形固定資産合計	12,040	11,294
投資その他の資産		
投資有価証券	68,052	65,532
繰延税金資産	1,812	2,133
その他	69,269	65,237
貸倒引当金	△4,011	△3,969
投資その他の資産合計	135,122	128,933
固定資産合計	578,004	558,350
資産合計	1,188,324	1,286,513

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	176,895	226,935
短期借入金	99,072	87,383
1年内返済予定の長期借入金	20,902	25,185
1年内償還予定の社債	20,010	20,010
未払法人税等	2,089	5,268
未払費用	60,876	52,829
賞与引当金	16,322	8,162
製品保証引当金	27,172	26,475
工事損失引当金	4,681	4,472
その他	52,684	58,205
流動負債合計	480,703	514,924
固定負債		
社債	24,080	4,075
長期借入金	166,562	232,189
繰延税金負債	14,002	13,082
退職給付引当金	33,707	34,277
役員退職慰労引当金	561	454
その他	54,746	52,347
固定負債合計	293,658	336,424
負債合計	774,361	851,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	153,795	153,795
資本剰余金	160,071	160,071
利益剰余金	156,948	186,713
自己株式	△1,381	△1,258
株主資本合計	469,433	499,321
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,567	12,237
為替換算調整勘定	△68,339	△77,732
その他の包括利益累計額合計	△56,772	△65,495
少数株主持分	1,302	1,339
純資産合計	413,963	435,165
負債純資産合計	1,188,324	1,286,513

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	1,174,628	1,029,407
売上原価	917,073	826,713
売上総利益	257,555	202,694
販売費及び一般管理費	184,073	174,840
営業利益	73,482	27,854
営業外収益		
受取利息	816	817
受取配当金	558	605
持分法による投資利益	2,570	1,151
不動産賃貸料	406	388
為替差益	—	1,023
デリバティブ評価益	4,048	1,489
その他	1,428	1,479
営業外収益合計	9,826	6,952
営業外費用		
支払利息	3,608	2,878
為替差損	2,483	—
その他	2,440	3,215
営業外費用合計	8,531	6,093
経常利益	74,777	28,713
特別利益		
固定資産売却益	535	26,471
投資有価証券売却益	504	584
貸倒引当金戻入額	313	—
貸付債権譲渡益	627	—
その他	11	122
特別利益合計	1,990	27,177
特別損失		
固定資産除売却損	839	854
減損損失	835	63
災害による損失	—	7,257
過年度損益修正損	1,347	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	372	—
建替関連損失	657	—
その他	441	675
特別損失合計	4,491	8,849
税金等調整前四半期純利益	72,276	47,041
法人税等合計	13,781	10,242
少数株主損益調整前四半期純利益	58,495	36,799
少数株主利益	88	43
四半期純利益	58,407	36,756

四半期連結包括利益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	58,495	36,799
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	861	670
為替換算調整勘定	△18,479	△9,254
持分法適用会社に対する持分相当額	△311	△144
その他の包括利益合計	△17,929	△8,728
四半期包括利益	40,566	28,071
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	40,496	28,033
少数株主に係る四半期包括利益	70	38

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	72,276	47,041
減価償却費	41,676	42,551
減損損失	835	63
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,299	△8,166
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	2,836	548
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	1,954	△209
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△57	459
受取利息及び受取配当金	△1,374	△1,422
支払利息	3,608	2,878
デリバティブ評価損益 (△は益)	△4,048	△1,489
持分法による投資損益 (△は益)	△2,570	△1,151
固定資産除売却損益 (△は益)	304	△25,617
売上債権の増減額 (△は増加)	20,996	△25,276
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△33,357	△60,894
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,933	51,832
リース投資資産の増減額 (△は増加)	4,307	1,471
営業貸付金の増減額 (△は増加)	2,505	△10,115
貸貸用車両及び器具の増減額 (△は増加)	3,787	2,580
預り金の増減額 (△は減少)	△6,436	1,994
その他	△4,342	△8,400
小計	88,668	8,678
利息及び配当金の受取額	1,374	1,613
利息の支払額	△3,616	△2,752
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△8,500	△8,031
営業活動によるキャッシュ・フロー	77,926	△492
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,927	△4,583
有価証券の売却による収入	2,891	2,616
有形固定資産の取得による支出	△32,151	△34,995
有形固定資産の売却による収入	1,153	34,392
無形固定資産の取得による支出	△2,016	△2,121
投資有価証券の取得による支出	△15,370	△11,541
投資有価証券の売却による収入	12,277	10,019
貸付けによる支出	△61,659	△62,001
貸付金の回収による収入	61,226	63,186
その他	△2,687	1,344
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,263	△3,684

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△52,059	△11,689
長期借入れによる収入	58,878	79,085
長期借入金の返済による支出	△34,765	△9,235
社債の償還による支出	△20,005	△20,005
配当金の支払額	△3,478	△6,986
その他	△979	△462
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,408	30,708
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,457	△6,244
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△25,202	20,288
現金及び現金同等物の期首残高	191,466	227,704
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	32
現金及び現金同等物の四半期末残高	166,264	248,024

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）
該当事項はありません。

(5) 連結の範囲及び持分法適用の範囲の変更

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）
（持分法適用の範囲の変更）

スバルカスタマイズ工房株式会社は、当社の連結子会社である桐生工業株式会社と平成23年4月1日に合併したことにより、第1四半期連結会計期間より持分法の適用範囲から除外しております。

スバル オブ ホンコン LTD. は、重要性が増したことにより、第2四半期連結会計期間より持分法の適用範囲に含めております。

(6) 追加情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）
（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

（連結納税制度の適用）

第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）
該当事項はありません。

(8) その他注記情報

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(特別損失)

1) 当第3四半期連結累計期間において当社グループは、以下の資産について減損損失を計上しております。

用途	場所	種類
遊休資産	東京都 他10件	建物及び構築物、土地、他

減損損失を認識した遊休資産については個別の物件毎にグルーピングしております。

(科目別の計上額)

科目	金額
建物及び構築物	79 百万円
土地	754 百万円
その他	2 百万円
合計	835 百万円

2) 特別損失における過年度損益修正損1,347百万円は、過年度の売上原価を修正したものであります。

3) エビススバルビルの建替に関連して、以下の特別損失を計上しております。

内容	金額
解体費用見積もり額	334 百万円
臨時償却費	323 百万円
合計	657 百万円

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

(特別利益)

固定資産売却益のうち、26,137百万円は当社と当社の連結子会社であるスバル興産株式会社が新宿スバルビルおよび同敷地を小田急電鉄株式会社に売却したことによるものであります。

(特別損失)

災害による損失は東日本大震災によるものであり、主に操業等低下分の固定費用であります。

(9) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車	航空宇宙	産業機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,086,340	54,245	22,908	1,163,493	11,135	1,174,628	—	1,174,628
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,843	—	5	1,848	9,781	11,629	△11,629	—
計	1,088,183	54,245	22,913	1,165,341	20,916	1,186,257	△11,629	1,174,628
セグメント利益又は損 失(△)	71,876	△327	111	71,660	1,802	73,462	20	73,482

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塵芥収集車製造、特殊車両製造、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車	航空宇宙	産業機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	940,383	55,118	25,137	1,020,638	8,769	1,029,407	—	1,029,407
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,920	—	78	1,998	9,302	11,300	△11,300	—
計	942,303	55,118	25,215	1,022,636	18,071	1,040,707	△11,300	1,029,407
セグメント利益	25,202	1,533	456	27,191	715	27,906	△52	27,854

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塵芥収集車製造、特殊車両製造、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

〈 2012年3月期 第3四半期決算 参考資料 〉

<単位>金額：億円、台数：千台、比率：％

	2011年3月期 第3四半期累計期間 (2010.4.1~2010.12.31)	2012年3月期 第3四半期累計期間 (2011.4.1~2011.12.31)		2011年3月期 通期実績 (2010.4.1~2011.3.31)	2012年3月期 通期予想 (2011.4.1~2012.3.31)			2012年3月期 前回通期予想 (2011.4.1~2012.3.31)
		増減	増減率		増減	増減率		
売上高	11,746	10,294	△ 1,452 △ 12.4	15,806	15,000	△ 806 △ 5.1	14,800	
国内	3,498	3,375	△ 123 △ 3.5	4,673	4,750	77 1.6	4,700	
海外	8,248	6,919	△ 1,329 △ 16.1	11,132	10,250	△ 882 △ 7.9	10,100	
営業利益	735	279	△ 456 △ 62.1	841	380	△ 461 △ 54.8	300	
利益率	6.3	2.7		5.3	2.5		2.0	
経常利益	748	287	△ 461 △ 61.6	822	370	△ 452 △ 55.0	290	
利益率	6.4	2.8		5.2	2.5		2.0	
当期純利益	584	368	△ 217 △ 37.1	503	410	△ 93 △ 18.5	360	
利益率	5.0	3.6		3.2	2.7		2.4	
営業利益増減要因		諸経費等減 為替レート差 売上構成差等 原価低減等 試験研究費増	166 △ 368 △ 168 △ 45 △ 41		諸経費等減 為替レート差 売上構成差等 原価低減等 試験研究費増	152 △ 451 △ 56 △ 55 △ 51		
為替レート	87円/US\$ 115円/EURO	79円/US\$ 110円/EURO		86円/US\$ 114円/EURO	78円/US\$ 107円/EURO		78円/US\$ 108円/EURO	
設備投資	293	392		431	600		600	
減価償却費	366	389		498	550		550	
試験研究費	316	356		429	480		480	
有利子負債残高	3,179	3,688		3,306	3,500		3,500	
業績評価		2期ぶりの減収 2期ぶりの当期純利益減益			2期ぶりの減収 3期ぶりの当期純利益減益			
日本売上台数	118	114	△ 4 △ 3.7	158	167	9 5.6	169	
登録車	50	52	2 4.3	68	74	6 8.7	73	
軽自動車	68	62	△ 7 △ 9.5	90	93	3 3.3	96	
海外売上台数	370	318	△ 52 △ 14.0	499	474	△ 25 △ 5.0	476	
北米	227	207	△ 19 △ 8.6	307	309	2 0.6	309	
欧州	43	35	△ 8 △ 18.3	60	54	△ 5 △ 9.1	52	
中国	45	38	△ 8 △ 16.8	62	55	△ 7 △ 11.6	55	
その他	54	38	△ 17 △ 30.7	70	56	△ 14 △ 20.3	60	
連結売上台数総計	488	432	△ 56 △ 11.5	657	641	△ 16 △ 2.4	645	
生産台数合計	486	443	△ 43 △ 8.9	624	639	15 2.4	638	
日本	365	325	△ 40 △ 11.0	459	469	10 2.1	468	
米国	121	118	△ 3 △ 2.5	165	170	5 3.2	170	
売上高 事業別	自動車 航空宇宙 産業機器 その他	10,863 542 229 111	9,404 551 251 88	△ 1,460 9 22 △ 24	△ 13.4 1.6 9.7 △ 21.2	14,522 828 301 155		
営業利益 事業別	自動車 航空宇宙 産業機器 その他 消去・全社	719 △ 3 1 18 0	252 15 5 7 △ 1	△ 467 19 3 △ 11 △ 1	△ 64.9 - 310.8 △ 60.3 -	804 23 △ 1 15 1		

注1. 金額：億円（億円未満を四捨五入）、台数：千台（百台以下を四捨五入）、比率：％（小数点第2位を四捨五入）

注2. 為替レートは富士重工業単独売上台数

注3. 連結売上台数は、国内連結対象販売の小売、海外連結対象販売統括会社の卸売、非連結対象会社に対する富士重工業の出荷などの合計値

※上記の次期業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる可能性があります。



2012年2月3日

富士重工業 2012年3月期 第3四半期連結業績の概要

<2012年3月期 第3四半期累計期間業績：連結売上高>

スバルの販売は、東日本大震災による影響を受けた上期の大幅な生産台数減少分を、10月以降の増産により挽回を図ったものの、国内販売は前年同期比3.7%減の114千台、海外販売は同14.0%減の318千台、全世界合計の販売台数は同11.5%減の432千台となりました。この結果、連結売上高は売上台数の減少に加え、歴史的な円高水準にある為替の影響もあり、同12.4%減の1兆294億円となりました。

<2012年3月期 第3四半期累計期間業績：連結損益>

第3四半期累計期間業績については、販管費をはじめとした諸経費削減に努めたものの、円高の進行や震災影響によるスバルの販売台数減等により、営業利益は前年同期比62.1%減となる279億円となりました。経常利益は同61.6%減の287億円、当期純利益は第1四半期に本社ビル売却による特別利益261億円を計上しましたが、同37.1%減の368億円となりました。

<2012年3月期 通期連結業績見通し>

通期連結業績見通しについては、前回予想に対して諸経費削減ならびに原価低減が進展したことから予想を見直し、売上高1兆5,000億円、営業利益380億円、経常利益370億円、当期純利益410億円とします。

なお、通期連結業績見通しの前提となる為替レートは¥78/\$、¥107/EUROです。

2011年11月1日公表 通期連結業績見通し

売上高1兆4,800億円、営業利益300億円、経常利益290億円、当期純利益360億円、
想定為替レート¥78/\$、¥108/EURO